

取扱説明書

オゾン発生器

実際ご使用に先立ち、この取扱説明書をよくお読みになり、内容をよく理解された上でご使用下さい。

このオゾン発生器は、冷蔵庫内のエチレン除去や屋内の殺菌、消臭のため空気中にオゾンを放散させる装置です。

このオゾン発生器は、屋内に設置するよう設計された製品です。

安全に関するご注意

▲高濃度のオゾンは、人体（動植物）に有害です。

本器の使用時、次の異常を感じた時は、ただちに本器の電源を切り、換気して下さい。

強いオゾン臭を感じた時

頭痛、目にチカチカを感じた時

(参考)

- ・オゾンガスの作業環境基準：0.1ppm（日本産業衛生学会の勧告による）
- ・密閉された狭い部屋で本器を運転した場合、1時間で0.1ppm以上になることがあります。
- ・嗅覚の敏感な人は、0.02ppm位の濃度でオゾン臭を感じます。

▲このオゾン発生器に水を掛けないで下さい。

▲カバーの穴から金属片、針金などを差し込まないで下さい。

また、幼児がこのようなことをしないよう、幼児の手の届くところに設置しないで下さい。

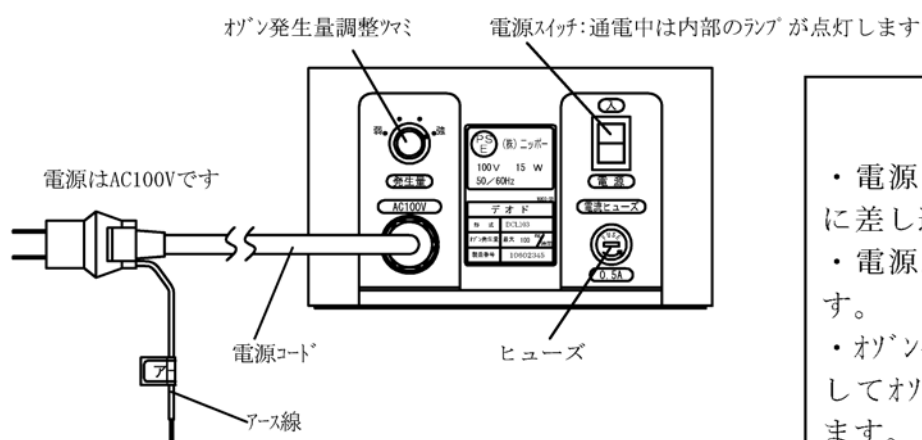
▲感電防止の為、オゾン発生器のアース線を接地して下さい。

▲この取扱説明書に書かれていない使用方法を行う場合に必要な安全に対する配慮は、すべてご自分の責任でお考え下さい。

取付方法

- ・このオゾン発生器は、周囲温度 0～40℃、相対湿度 70%以下の屋内環境で
ご使用下さい。
- ・振動衝撃の少ない場所をお選び下さい。
- ・水滴、油末、ほこり及び腐食性ガスを避けて下さい。
- ・設置は、卓上等に据置または壁掛けでご使用になれます。取付の際は、本器の
重量を考慮して設置して下さい。

使い方



使用方法

- ・電源プラグを電源コンセントに差し込みます。
- ・電源スイッチを「入」にします。
- ・オゾン発生量調節ツマミを回してオゾン発生量を調節します。

保守点検

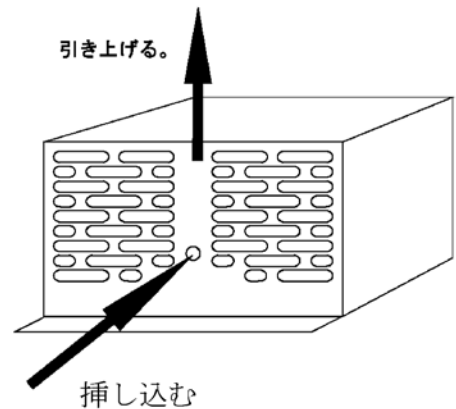
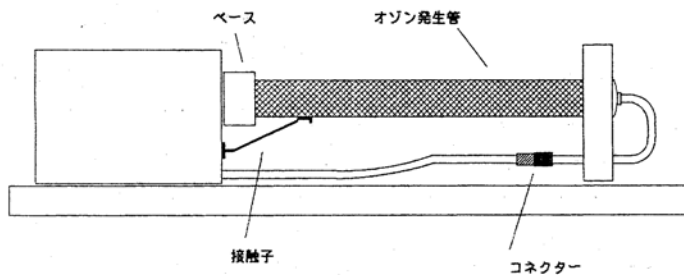
オゾン発生管が汚れるとオゾンの発生量が少なくなる上、オゾン発生管の寿命が縮みます。少なくとも3ヶ月に1回は清掃をおすすめします。また、定期的な清掃を行ってもオゾン発生管の寿命は約5年です。

⚠ 警告

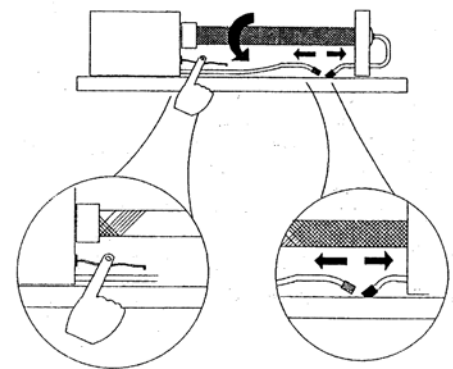
- ▲内部は高電圧が発生していて危険です。保守点検のため製品のカバーをはずす場合は、電源コードを抜いてから行って下さい。
- ▲オゾン発生管はガラス製です。取扱は慎重に行なって下さい。オゾン発生管の取り外し、取り付けの際は、金属部分をつかまず管ベースをつかんで回して下さい。

オゾン発生管の取り外し方

1. 電源スイッチを切り、電源コードをコンセントから抜いて下さい。
2. 本体後部の穴に、細いドライバーまたは棒を挿し込み、ロックを外しながらカバーを持ち上げます。
3. 図の様になります。

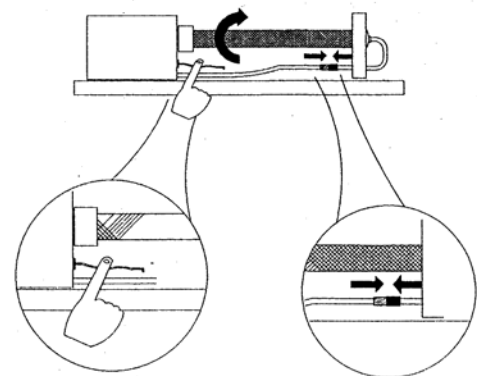


4. コネクターを外します。
5. 押え金具の止めネジを緩めて、オゾン発生管の頭部から外します。
6. 接触子を指で押し、オゾン発生管から接触子を離して下さい、そのままベースを矢印の方向に回してネジをゆるめると取り外せます。



オゾン発生管の取り付け方

1. 電源スイッチを切り、電源コードをコンセントから抜いて下さい。
2. 接触子を指で押し、オゾン発生管に当たらない様にして下さい。発生管ベースをつかんでねじ込んで下さい。
3. 押え金具をオゾン発生管の頭部に合せて取り付けネジを締めます。
4. コネクターを差し込んで下さい。
5. カバーをかぶせ、ロックの在る方を押し込み、カバーを固定します。



オゾン発生管清掃方法

- ・金網筒をはずす場合は金網筒を回しながらゆっくりとはずして下さい。
- ・オゾン発生管はハケや乾いた布で汚れを拭き取って下さい。
- ・汚れのひどい時は中性洗剤を付けた布で拭き取って下さい。
- ・金網筒は中性洗剤を浸けたスポンジでこすりながら洗うときれいになります。
- ・オゾン発生管、金網筒は必ず乾燥させてから取り付けて下さい。

異常を感じた場合

異常現象	点検	処置
電源を入れても 電源ランプが点灯しない または、オゾンが発生しない	ヒューズ	ヒューズが切れていたら、同定格のものに交換(AC125V 0.5A) ヒューズが切れていない場合は修理に出す。
	カバーが取り付け かけてあるか	カバーを取り付けないと通電しません。確実に取り付けて下さい。
焼け焦げ等の異臭 火花の発生が見える		ただちに電源コードを抜いて修理に出す。

仕様

形式	B C L 1 0 3 - 0 0
オゾン発生方式	交流高電圧放電式
電源	A C 1 0 0 V 5 0 / 6 0 H z
消費電力	2 0 W
オゾン発生量	5 0 m g / 時 (発生管 1 本当たり、発生量調節最大時)

このオゾン発生器の設計内容に関する不断の研究改良の結果、この取扱説明書の内容の中に、お買い上げの製品と詳細において異なる場合があります。お買い上げの製品またはこの取扱説明書の内容につきましてご質問がおありの場合は、下記までお問合せ下さい。

お問い合わせは フリーダイヤル 0120-963-166
携帯電話・PHS・IP電話からはこちらへ 048-255-0066

nippo 株式会社ニッポー

本社営業部	TEL:048-255-0066 FAX:048-253-2793	〒332-0015	川口市川口 2-13-20
中部営業所	TEL:0533-56-8407 FAX:0533-56-8408	〒442-0068	愛知県豊川市諏訪 2-425 パークビル3F D号室
大阪営業所	TEL:06-6375-2201 FAX:06-6375-2205	〒530-0014	大阪市北区鶴野町 4 コープ野村梅田 A-223
島根営業所	TEL:0854-52-2478 FAX:0854-52-1142	〒699-1822	島根県仁多郡奥出雲町下横田 750-1
本社	TEL:048-253-2788 FAX:048-253-2793	〒332-0015	川口市川口 2-13-20
島根工場	TEL:0854-52-0066 FAX:0854-52-1142	〒699-1822	島根県仁多郡奥出雲町下横田 750-1

※ 住所・電話番号などは、変更になることがあります。あらかじめご了承下さい。